

経営比較分析表（令和5年度決算）

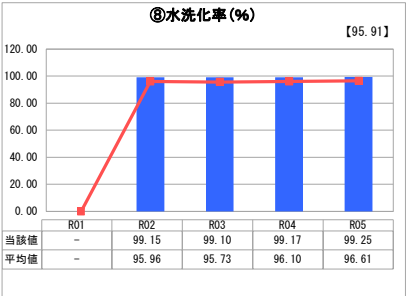
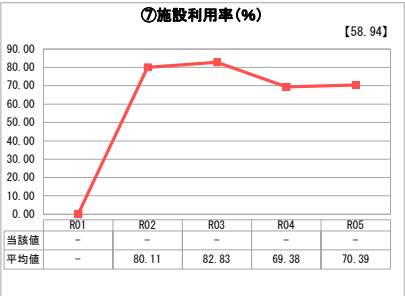
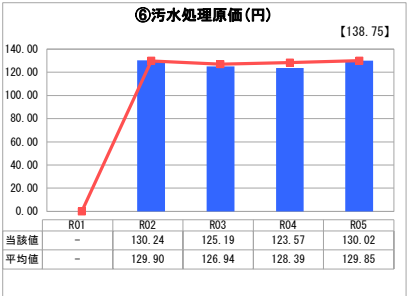
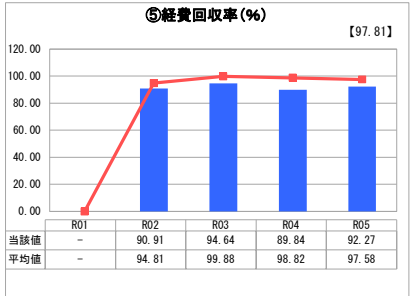
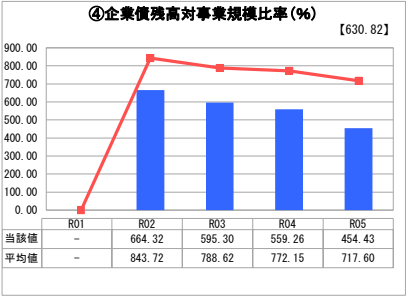
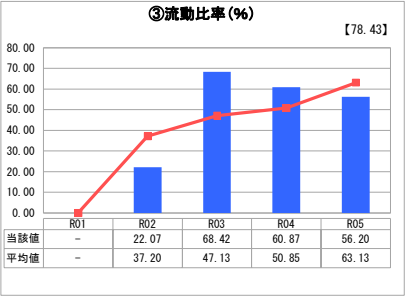
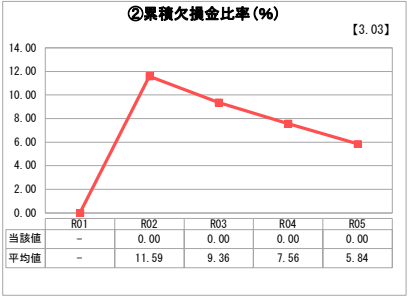
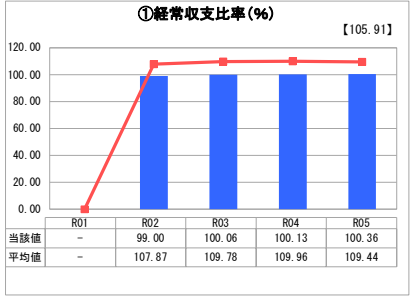
京都府 向日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	48.23	100.00	79.96	2,266

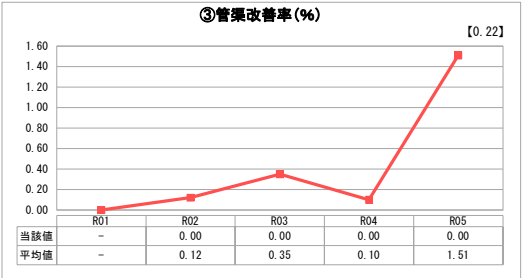
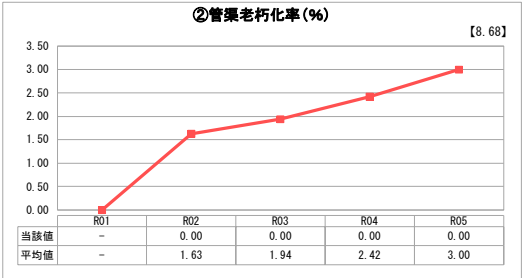
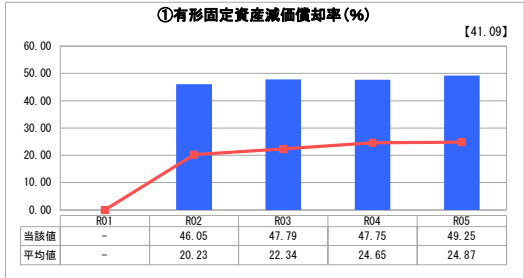
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
56,571	7.72	7,327.85
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
56,428	6.52	8,654.60

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 収益的収支比率
経常収支比率は100%に近い値で推移していますが、使用料収入の不足分を一般会計繰入金によって賄っています。

③ 流動比率
未払金に充当するための財源を年度内に収入していることから、年度末時点の現金が増え、流動比率が高くなっています。

④ 企業債残高対事業規模比率
耐用年数を超えた管渠がなく、本格的な老朽管の更新が始まっていないことから、企業債の新規借入を行うことが少ないため、減少しています。

⑤ 経費回収率
汚水処理費の一部を一般会計繰入金によって賄っているため、100%を下回っています。適正な経費回収のため、経営管理の向上が必要です。

⑥ 汚水処理原価
汚水資本費が高くなる分流式下水道を採用しています。類似団体とほぼ同水準となっています。

⑧ 水洗化率
早くから水洗化を進め、汚水事業整備が平成12年に完了したことから、ほぼ100%となっています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
概ね資産全体の半分程度償却が進んでいる状況です。

② 管渠老朽化率、③ 管渠改善率
昭和49年から整備に着手したため、耐用年数50年に達している老朽管はありません。現在、ストックマネジメント計画に基づき、予防保全型の維持管理を行うことで下水道管渠の長寿化に取り組んでいます。

全体総括

支出の大部分を占める企業債償還金は減少傾向にありますが、使用料収入では支出全体を賄いきれず、一般会計からの繰入金に依存する状況が続いています。今後も正確な経営状況の把握に努め、安定的な下水道事業運営を行うための適切な経営管理を行います。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。